

日 時：2026 年〔令和 8 年〕6 月 28 日

参 加 者：岡村眞由美・岡村繁雄 他 2 名

行 程：エメニー・スプリングス・トレイル駐車場 → メニー・スプリングス・トレイル周回(外周約 1.1km、歩行距離 1.5km)
→ メニー・スプリングス・トレイル駐車場

行動時間：55 分

当初はマウント・ヤムナスカへの登山を予定していたが、雨は降っていないものの天候はすぐれず、山頂付近の展望も期待できそうになかった。そのため、予定を変更し、事前に調べていた旅行会社のハイキングツアーにも組み込まれているショートコース、「メニー・スプリングス・トレイル」を歩くことにした。

空はどんよりと曇り、肌寒さを感じるあいにくの天候であった。それでも、池へ向かうトレイル沿いには、前日に訪れたエメラルド・レイクでも見られたイエロー・レディース・スリッパー（アツモリソウ）やインディアン・ペイントブラシをはじめ、色とりどりの花々が咲き誇っていた。曇天の中でも、可憐な花々が足元を鮮やかに彩り、歩く楽しみを与えてくれた。



ボウバレー州立公園トレイルの案内板より



メニー・スプリングス・トレイルの掲示板より「池を反時計回りに周回」



トレイルの入り口



マウント・ヤムナスカ

トレイル入口からしばらく進むと、周囲の景色が開け、池が見えてきた。メニー・スプリングスは小さな池を周回する短いトレイルだが、周辺にはウェスタン・ウッド・リリー(Western Wood Lily)、ブルー・クレマチス(Blue Clematis)、コモン・ピンク・ウィンターグリーン(Common Pink Wintergreen)など、さまざまな花が咲いていた。

池のほとりからは、雲に覆われたマウント・ヤムナスカを望むことができた。池の水面には山の姿が映り込み、静かな湖畔ならではの美しい景観を見せていた。



バラ属 プリックリー ローズ(Prickly Rose)



ユリ属 ウェスタン ウッド リリー(Western Wood Lily)



センニンソウ属 ブルー クレマティス(Blue Clematis)



池に映るマウント・ヤムナスカ



マウント・ヤムナスカの左側の山並み





イチヤクソウ属 コモン ピンク ウィンターグリーン (Common Pink Wintergreen)



周回後半の池の際に設置された木道



このところの雨で木道が半分水没していたが 何とか通過できた

池は掲示板の案内に従い、反時計回りに周回した。周回の後半には池の際に木道が設置されていたが、このところの雨で水位が上がり、木道の一部が半分ほど水没していた。それでも何とか足場を確認しながら通過することができた。

その後も、スティッキー・パープル・ジェラニウム(Sticky Purple Geranium)、イエロー・ドライアド(Yellow Dryad)、インディアン・ペイントブラシなど、次々と花々が姿を現した。中でも、鮮やかな黄色のイエロー・レディース・スリッパ(Yellow Lady's Slipper)はひととき印象的で、今回のトレイルで特に心に残った花の一つである。



フクロソウ属
スティッキー パープル ジェラニウム(Sticky Purple Geranium)



チョウノスケウ属 イエロー ドライアド(Yellow Dryad)



インディアン ペイントブラシ(Indian Paintbrush)





和名「アツモリソウ」 イエロー レディース スリッパー (Yellow Lady's Slipper)



旅行会社のハイキングツアーでは、ヤムナスカ・ショルダー〔ヤムナスカの岸壁直下までの往復ハイキング〕の後に、このメニー・スプリングス・トレイル〔約 1.1km〕を一周するコースが組み込まれていた。

実際に歩いてみると、短い距離ながら多くの種類の花々を見ることができ、旅行会社がこのコースをツアーに組み込んでいる理由が理解できた。山頂を目指す本格的な登山とは異なり、短時間でもカナディアン・ロッキーの自然と高山植物を気軽に楽しめる、魅力的なトレイルである。

この日は終始曇り空であったが、もし青空の下で歩くことができていれば、池やマウント・ヤムナスカをはじめとする周囲の景観もより美しく映え、さらに魅力的なハイキングになったことだろう。

北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura Photo presented by S.Okamura